

果樹病害虫発生状況（9月上旬）

1 リンゴ

(1) 斑点落葉病

新梢葉の発生ほ場割合は、中通り、会津ともに平年並の状況でしたが（図1）、発生程度の高いほ場が散見されました。

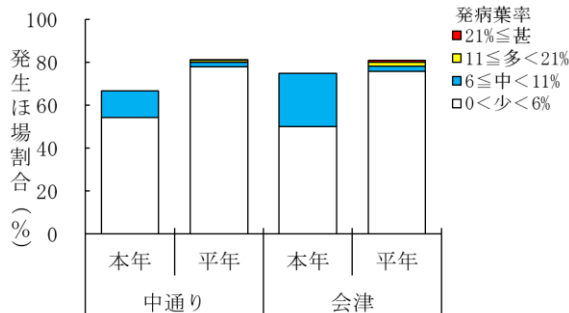


図1 リンゴ斑点落葉病の発生状況（平年：平成21年～30年）

(2) 褐斑病

新梢葉での発生ほ場割合は、中通り、会津ともに平年よりやや高い状況でした（図2）。また、果実での発生は、中通り、会津ともに確認されませんでした。

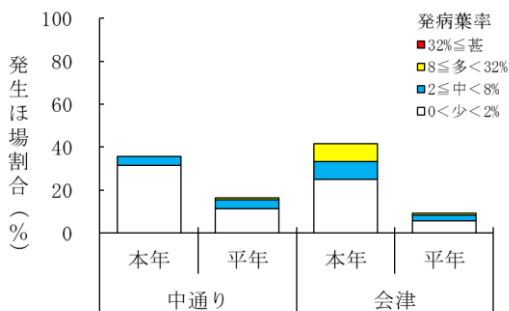


図2 リンゴ褐斑病の新梢葉での発生状況（平年：平成21年～30年）

(3) 輪紋病

果実での発生は、中通り、会津ともに確認されませんでした。

(4) 炭疽病

果実での発生ほ場割合は、中通り、会津ともに平年よりやや高い状況でした（図3）。

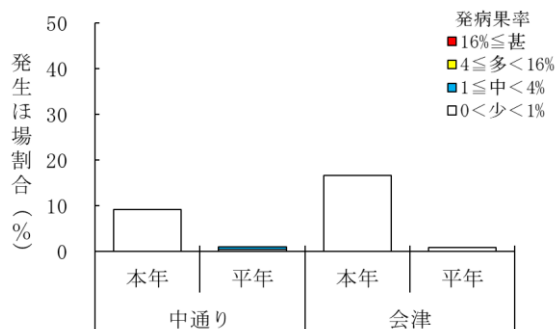


図3 リンゴ炭疽病の発生状況（平年：平成21年～30年）

(5) シンクイムシ類

スモモヒメシンクイ、モモシンクイガ、ナシヒメシンクイによる果実被害は中通り、会津ともに確認されませんでした。

2 モモ

(1) せん孔細菌病

新梢葉での発生ほ場割合は、福島地域、伊達地域ともに平年よりやや高く、発生程度が高いほ場が多くみられました（図4）。

近年、菌密度が高い状況が続いています。今後の発生拡大防止のために、秋期防除の徹底を図りましょう。

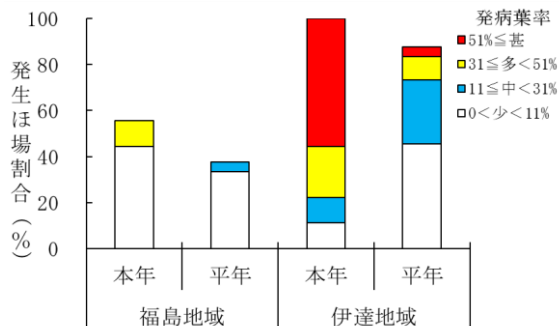


図4 モモせん孔細菌病の新梢葉での発生状況（平年：平成21年～30年）

(2) コスカシバ

寄生ほ場割合は、福島地域では平年並、伊達地域では平年よりやや低い状況でした（図5）。

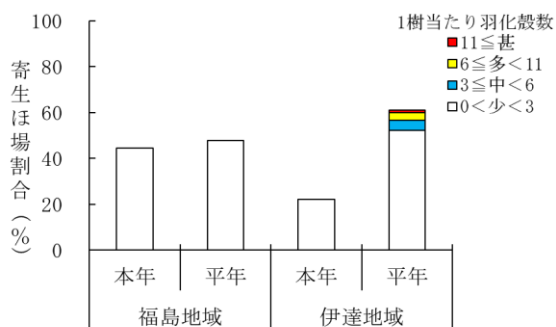


図5 コスカシバの発生状況（平年：平成21年～30年）

3 ナシ

(1) 黒星病

新梢葉での発生ほ場割合は、中通りで平年よりやや高く、浜通りで平年よりやや低い状況でした（図6）。

果実（豊水）での発生ほ場割合は、中通りで平年よりやや高く、浜通りで平年よりやや低い状況でした（図7）。

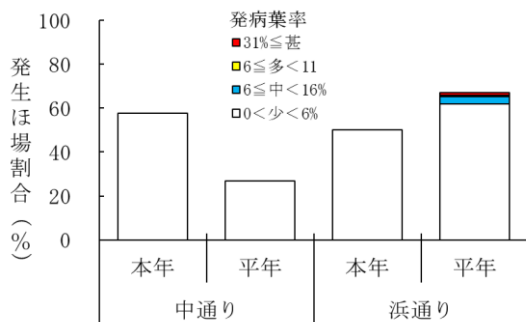


図6 ナシ黒星病の新梢葉での発生状況（平年：平成21年～30年）

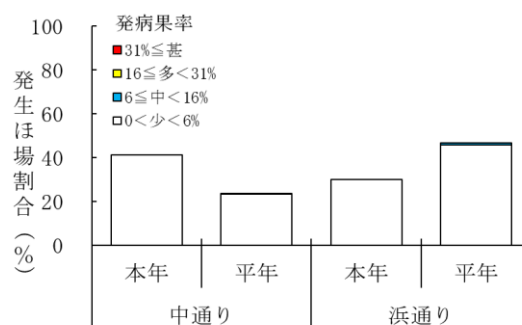


図7 ナシ黒星病の果実での発生状況（平年：平成21年～30年）

(2) 輪紋病

果実（豊水）での発生ほ場割合は、浜通りで平年並の状況でしたが、中通りでは発生が確認されませんでした（図8）。

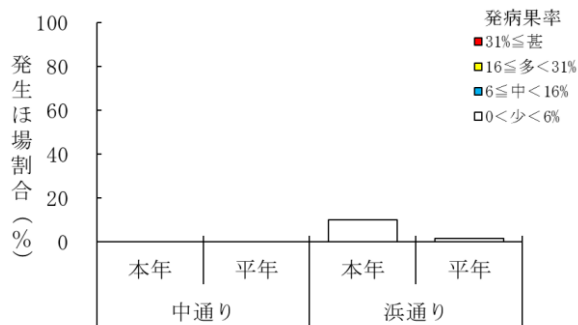


図8 ナシ輪紋病の果実での発生状況（平年：平成21年～30年）

(3) カイガラムシ類

クワコナカイガラムシやナシマルカイガラムシによる果実（豊水）の被害は、中通り、浜通りともに確認されませんでした。

(4) カメムシ類

果実（豊水）での果実被害の発生ほ場割合は、中通りで平年並の状況でしたが、浜通りでは被害は確認されませんでした（図9）。

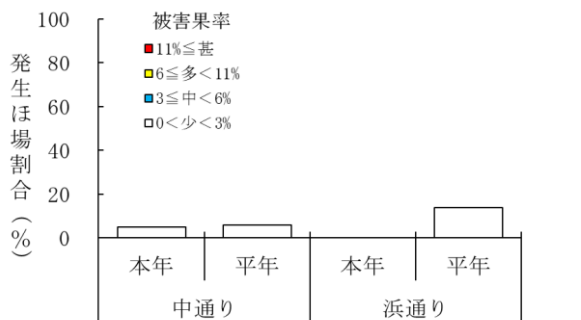


図9 カメムシ類の果実被害の発生状況（ナシ）（平年：平成21年～30年）

4 果樹共通

(1) ハマキムシ類

新梢被害、果実被害ともに全域で確認されませんでした。

(2) ハダニ類

リンゴでのハダニ類の寄生ほ場割合は、中通りで平年並であり。会津では平年よりやや高い状況でした。また、会津で寄生程度が高いほ場が一部ありました（図10）。

モモでのハダニ類の寄生ほ場割合は、福島地域、伊達地域ともに平年並の状況でした（図11）。

ナシでのハダニ類の寄生ほ場割合は、中通りで平年並であり、浜通りで平年よりやや高い状況でした（図12）。

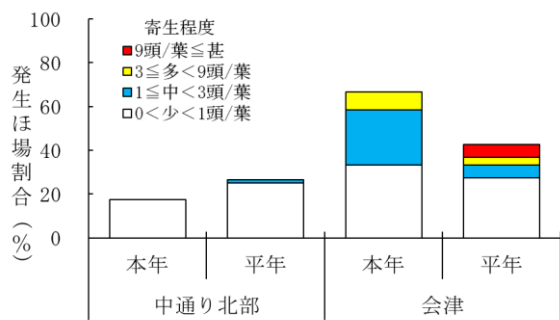


図10 リンゴのハダニ類の寄生状況 (平年：平成21年～30年)

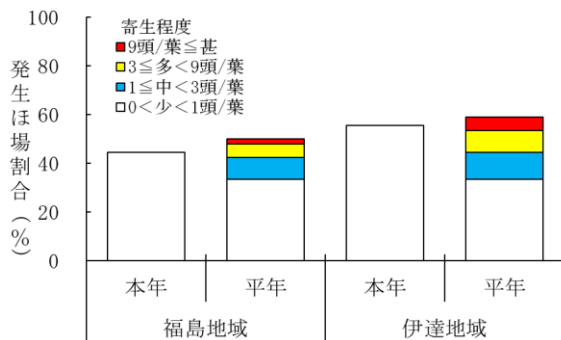


図11 モモコのハダニ類の寄生状況 (平年：平成21年～30年)

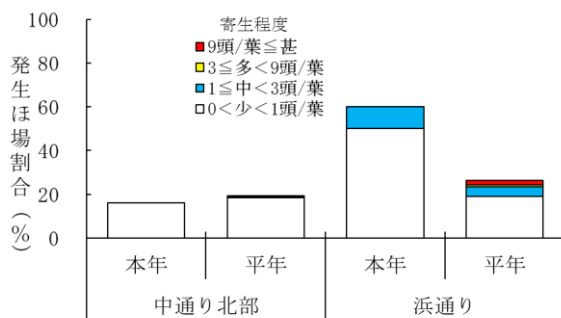


図12 ナシのハダニ類の寄生状況 (平年：平成21年～30年)